

安全運転だより

和歌山県警察本部
交通部交通企画課

令和2年6月

「安全・安心」の確保は運転者の責務

◎ 和歌山県下の交通事故（令和2年5月末）

		件数	死者	傷者
累計	本年	676	5	778
	前年	730	10	872
対比	増減数	-54	-5	-94
	増減率	-7.4%	-50.0%	-10.8%

令和2年5月末時点、県下の交通事故については、件数、死者、傷者ともに減少しています。

◎ 業務中の交通事故

5月末で業務中の交通事故は167件発生し、前年比-1.8%と全体の減少率と比較して、その減少はわずかなものとなっています。

なかでも、交通事故の主原因があった当事者の法令違反をみると、最も多いのは「安全不確認」続いて「動静不注視」「前方不注視」となっています。

業務中に運転する際は、次の用務の事を考えたり、仕事先からの連絡等、運転に対する注意力を低下させる要因がたくさんあります。

事業所は、運転者が運転に集中できるように、運転中と思われる時間帯の連絡（電話・メール等）は控えましょう。

また、運転者は、運転に集中し安全運転に努めましょう。

主原因があった当事者の法令違反

順位	法令違反	割合
1	安全不確認	41.3%
2	動静不注視	18.3%
3	前方不注視	15.6%

◎ 安全運転相談ダイヤル「#8080（シャープハレバレ）」

加齢に伴い運転に不安を感じる高齢運転者やその家族、身体の障がいや一定の病気（認知症、統合失調症、てんかんなど）のため、運転に支障がある方が、自動車の安全な運転に関して電話で相談できる全国統一の相談ダイヤルが開設されています。

運転に不安を感じたら、まず電話相談してください。

☆ 受付時間：平日 午前9時～午後4時（年末年始を除きます。）

運転に不安を感じたら、
まず相談!!

和歌山県警察
安全運転相談ダイヤル

#8080

シャープ ハ レ バ レ

※相談受付は平日9時～16時

病気になる
動きが鈍くなった
運転中ヒヤッとした
物忘れが多くなった